

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり	小施策 主管課等	環境企画課	
施策	20	地球環境の保全と自然との共生	評価 責任者	千葉 信幸	内線 8410
小施策	20-2	環境を大切にしている心の育成	評価 シート 作成者	菅原 真理	内線 8411

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市民一人ひとりの節電・省エネへの取組やライフスタイルの変革などが求められていることから、将来を担う子どもたちから大人まで、すべての市民が身近な環境から地球規模の環境問題まで関心を持ち、理解を深め、環境を大切にしている意識を高める必要がある。		市民や事業者などが利用しやすい環境情報の発信や、さまざまな環境啓発事業を通じて、市民の環境を大切にしている心の育成を図り、環境に配慮した行動を促進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民		地球環境の保全の大切さが理解される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析	
まちづくり評価アンケート調査「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	%	↑	<p>・環境部ホームページの閲覧者が前年度比3.7%増加した。</p> <p>・まちづくり評価アンケートによる、地球環境にやさしい生活を常に心がけている市民の割合が増加した。</p>	⇒	<p>・環境部ホームページの情報をできるだけ速やかに更新するようにした。</p> <p>・広報などを活用して「地球温暖化対策」について周知した。</p>	
当初値 (H25)	80.7	R1目標値	83.0		R6目標値	86.0
問題点			問題の要因分析			
<p>・まちづくり評価アンケートによる、地球環境にやさしい生活を常に心がけている市民の割合が目標値に達していない。</p>			<p>・「地球環境にやさしい生活」を心がける理由とその方法が周知しきれていない。</p>			
市内の公立小中学校及び市立社会教育施設で実施される地球環境への貢献に係る環境教育・環境啓発事業への参加者数	人	↑	<p>・エコライフ推進イベントの参加者が前年度比6.8%増加した。</p> <p>・地球環境への貢献に係る環境教育・環境啓発事業への参加者数が目標値を上回っている。</p>	⇒	<p>・エコライフ推進イベントの内容の充実を図った。</p> <p>・学校等での取組が定着してきている。</p>	
当初値 (H25)	22,874	R1目標値	23,000		R6目標値	23,000
問題点			問題の要因分析			
<p>・環境学習講座の参加者が前年度比4.5%減少した。</p>			<p>・子どもを対象とした学習講座が、学校行事や地域行事などと日程が重なることが多く、参加者数が伸びなかった。</p>			

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<p>★ 環境部ホームページの内容の更なる充実を図る。</p> <p>☆1 「地球環境にやさしい生活」の必要性が理解され、興味を感じてもらえるような具体的な取組事例を広く周知できるような方法を検討する。</p>	
<p>★ エコライフ推進イベントの内容の更なる充実を図る。</p> <p>★ 環境学習講座の内容や日程を見直し、参加しやすい設定を検討する。</p> <p>☆1 学校や公民館との連携を強化し取組を進める。</p>	